

令和5年度定時総会次第

- 1 開会の言葉
- 2 市民憲章唱和
- 3 表 彰
- 4 理事長あいさつ
- 5 来賓祝辞、来賓紹介
- 6 議長選出
- 7 定足数の報告
- 8 議 事
 - (1) 報告事項
 - 第1号報告 令和4年度収支補正予算について
 - (2) 決議事項
 - 第1号議案 令和4年度事業報告について
 - 第2号議案 令和4年度決算について
監査報告
 - 第3号議案 役員を選任について
 - (3) 報告事項
 - 第2号報告 令和5年度事業計画について
 - 第3号報告 令和5年度収支予算について
- 9 その他
- 10 閉会の言葉

表 彰

・ 会員表彰 (38 名)

在籍 20 年 該当なし

在籍 19 年 別技 輝雄 様 植田 安一 様 三上 博 様
森川 孝子 様 佐々木 産 様 山代 義樹 様

在籍 18 年 岡本 俊信 様 佐々木 文子 様 渡邊 亀明 様
吉川 久美子 様 東條 眞佐子 様 佐田 利昭 様
原田 恵美子 様 濱口 松太郎 様 三浦 召後 様
光野 稔男 様 栗原 宏治 様 清水 雅敏 様
谷口 義孝 様

在籍 17 年 佐々木 利枝 様 寺田 寛 様 東 美三子 様
森脇 教幸 様 道明 康利 様

在籍 16 年 梨田 勝 様

在籍 15 年 清水 良二 様 稲田 章 様 清水 一恵 様
古和 百合子 様 山田 幸夫 様 坂根 栄樹 様
三澤 満 様 印河 芳信 様 山藤 秀憲 様
日向 克守 様 金子 三枝子 様 竹岡 善隆 様
吉田 託夫 様

※表彰規程の改正により、在籍期間を 20 年から 15 年としたため、今年度総会で 15 年以上在籍者を表彰するものです。

・ 役員表彰(3 期以上在任し辞任する者)

小谷 典弘 様 10 期 19 年

佐々木 章 様 6 期 11 年

・ 職員表彰 (20 年以上)

原田 昌弘 様 平成 12 年 4 月採用

第1号報告

令和4年度収支補正予算（第2号）について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和4年度補正予算（第2号）について、定款第42条第1項の規定により報告する。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原俊行

令和4年度収支補正予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受託事業収益	141,800,000			130,876,000	
受取配分金	120,000,000	0	△ 11,757,000	108,243,000	受託事業の減
受取材料費等	9,800,000	0	1,182,000	10,982,000	受取材料費の増
受取事務費	12,000,000	0	△ 349,000	11,651,000	
労働者派遣事業等受託収益	5,000,000			4,495,000	
労働者派遣事業等受託収益	5,000,000	0	△ 505,000	4,495,000	
受取会費	1,050,000	0		812,000	
正会員受取会費	1,020,000	0	△ 238,000	782,000	
賛助会員受取会費	30,000	0	0	30,000	
受取補助金等	19,600,000			19,820,000	
受取連合交付金	9,800,000	0	0	9,800,000	
受取(市)補助金	9,800,000	0	0	9,800,000	
受取(県)助成金	0	0	0	0	
受取(民間)助成金	0	0	220,000	220,000	中国電力より助成金
特定資産運用益	0			1,000	
特定資産受取利息	0	0	1,000	1,000	事務所移転費用積立資産
雑収益	206,000			171,000	
受取利息	1,000	0	0	1,000	
雑収益	205,000	0	△ 35,000	170,000	
配当金収益	1,000			1,000	
配当金収益	1,000	0	0	1,000	
経常収益計	167,657,000			156,176,000	
(2) 経常費用					
事業費	164,134,000			151,978,000	
支払配分金	120,000,000	0	△ 11,757,000	108,243,000	受託事業の減
支払材料費等	9,800,000	0	△ 557,000	9,243,000	支払材料費の減
給料手当	16,788,000	324,000	△ 214,000	16,898,000	
産業医報酬	240,000	0	0	240,000	
臨時雇賃金	0	0	0	0	
法定福利費	2,671,000	0	91,000	2,762,000	
退職金給付費用	664,000	0	△ 8,000	656,000	
福利厚生費	43,000	0	△ 4,000	39,000	
会議費	2,000	0	△ 2,000	0	
役員等旅費交通費	179,000	3,000	2,000	184,000	
旅費交通費	200,000	0	△ 139,000	61,000	
通信運搬費	1,412,000	0	40,000	1,452,000	
減価償却費	320,000	0	85,000	405,000	
什器備品費	10,000	0	179,000	189,000	
消耗品費	791,000	0	△ 367,000	424,000	
修繕費	486,000	0	△ 133,000	353,000	
印刷製本費	300,000	2,000	0	302,000	
光熱水料費	898,000	0	49,000	947,000	
賃借料	3,064,000	0	△ 105,000	2,959,000	
保険料	2,121,000	0	△ 94,000	2,027,000	
諸謝金	186,000	0	△ 119,000	67,000	
租税公課	749,000	627,000	8,000	1,384,000	消費税を会計年度内処理
支払負担金	433,000	0	0	433,000	
組織活動助成費	109,000	0	△ 15,000	94,000	
委託費	2,304,000	0	△ 150,000	2,154,000	
教材費	5,000	9,000	7,000	21,000	
支払手数料	344,000	0	28,000	372,000	
貸倒損失	0	0	62,000	62,000	
雑費	15,000	0	△ 8,000	7,000	

(単位：円)

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
管理費	3,523,000	0		3,600,000	
役員報酬	798,000	0	△ 21,000	777,000	
給料手当	2,169,000	0	138,000	2,307,000	
法定福利費	111,000	0	24,000	135,000	
退職金給付費用	0	0	0	0	
福利厚生費	10,000	0	0	10,000	
会議費	3,000	0	△ 3,000	0	
役員等旅費交通費	35,000	0	62,000	97,000	
旅費交通費	0	0	0	0	
通信運搬費	83,000	0	3,000	86,000	
什器備品費	10,000	0	△ 10,000	0	
消耗品費	80,000	0	△ 38,000	42,000	
印刷製本費	22,000	0	0	22,000	
光熱水料費	2,000	0	0	2,000	
賃借料	12,000	0	1,000	13,000	
保険料	30,000	0	△ 1,000	29,000	
諸謝金	74,000	0	△ 48,000	26,000	
支払負担金	36,000	0	△ 2,000	34,000	
委託費	1,000	0	1,000	2,000	
雑費	47,000	0	△ 29,000	18,000	
経常費用計	167,657,000	0		155,578,000	
評価損益等調整前当期経常増減額				598,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額				598,000	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	1,000	0	1,000	ホトラクターL122除却
経常外費用計	0	1,000	0	1,000	
当期経常外増減額	0	△ 1,000	0	△ 1,000	
当期一般正味財産増減額				597,000	
一般正味財産期首残高	16,107,186				
一般正味財産期末残高				16,704,186	
II 指定正味財産増減の部					
(1) 収益					
収益計	0	0	0	0	
(2) 費用					
費用計	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	16,107,186	597,000	0	16,704,186	

令和4年度収支補正予算書(注記)
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
【投資活動収支の部】					
<投資活動収入>					
固定資産売却収入	0	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	0	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	0	
特定資産取崩収入	2,574,000	△ 1,074,000	0	1,500,000	
財政運営資金積立資産取崩収入	1,500,000	0	0	1,500,000	
事務所移転費用積立資産取崩収入	1,074,000	△ 1,074,000	0	0	増減無予定は0円
投資活動収入計	2,574,000	△ 1,074,000	0	1,500,000	
<投資活動支出>					
固定資産取得支出	0	1,870,000	108,000	1,978,000	
車両運搬具購入支出	0	1,870,000	0	1,870,000	ヤンマートラクターYT122, B
什器備品購入支出	0	0	108,000	108,000	ゼノア背負式プロ
敷金・保証金等支出	0	0	0	0	
預託金戻り支出	0	0	0	0	
特定資産取得支出	2,574,000	△ 2,574,000	0	0	
財政運営資金積立資産取得支出	1,500,000	△ 1,500,000	0	0	ヤンマートラクターYT122, B購入費
事務所移転費用積立資産取得支出	1,074,000	△ 1,074,000	0	0	増減無予定は0円
投資活動支出計	2,574,000	△ 704,000	0	1,978,000	
投資活動収支差額	0	△ 370,000	△ 108,000	△ 478,000	
【財務活動収支の部】					
<財務活動収入>					
借入金収入	0	0	0	0	
短期借入金収入	0	2,500,000	0	2,500,000	r 4. 9. 21信金(定期担保)
財務活動収入計	0	2,500,000	0	2,500,000	
<財務活動支出>					
借入金返済支出	0	0	0	0	
短期借入金返済支出	0	2,500,000	0	2,500,000	r4. 10. 31日本海信金
財務活動支出計	0	2,500,000	0	2,500,000	
財務活動収支差額	0	0	0	0	
当期収支差額	0	△ 370,000	△ 108,000	△ 478,000	

第1号議案

令和4年度事業報告について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和4年度事業報告について、定款第43条第2項の規定により承認を求める。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和4年度 事業報告

事業概要

令和4年度も、前年度から引き続いての新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー事業では就業の縮小など影響が続いています。

年度末には、感染も収まり、派遣事業では、事業所の感染対策などで就業の停滞が少なくなるなど、回復の傾向が出ています。また、受託事業においては、とりわけ、草刈、剪定といった請負作業の受注が多く、コロナ禍で心配された事業所等での清掃作業などの請負受注も一定程度回復した年度となりました。

シルバー人材センターが受注した仕事を確実に完了させるため、あるいは、企業、会社等の要望に応じてシルバー派遣を継続していくためには、健康で働く意欲のある会員を今以上に確保していく必要があります。しかし、人口減少や高齢化の進展に伴い生産年齢人口の減少といったこの地域が抱える求人難という状況が続いています。事業所の定年延長や再雇用制度なども行われており、シルバー会員の拡大が非常に難しくなっています。

各企業等からの就業やシルバー派遣での問い合わせもある状況ですが、現状の社会情勢からもシルバー人材センターの会員登録が伸び悩んでおり、また、新規入会者も65歳以上が多くシルバー会員の平均年齢も高齢化している状況です。

全シ協の「会員100万人達成計画」に基づき、令和4年度の目標は、会員数460人としていましたが、年度末の会員数は421名という結果となりました。これは、コロナ禍により入会説明会の来場者数、入会者数に大きな影響があったこと、高齢や健康状態から退会される方も多かったことが原因と分析しています。高齢で体力的に就業機会が少なくなる会員の皆さんにも会員として在籍していただける魅力あるシルバー人材センターであることや、入会促進運動をさらに推し進め目標会員数確保に努力していかなければなりません。

本年度も引き続いて、旧郡部の入会者が少ないことから各地域に赴いての入会説明会を開催し、入会の声掛け運動の促進を図ってまいりました。声掛け運動は大変効果がある取り組みです。皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、引き続き会員拡大にご協力いただきますようお願い申し上げます。

センターの運営は、国と浜田市からの補助金、事務費収入が財源となっており、効率的な事業運営に引き続き取り組みました。

高齢社会が急速に進む中で、高齢者の生きがいづくりと、高齢者福祉の向上を目指すシルバー事業を健全に運営していくため、会員と役職員

が一体となった取り組みを進めることがこれまで以上に重要です。

1 受託事業実績

	令和4年度	令和3年度	比較増減 △減
会 員 数	421人 (入会会員45人) (退会会員47人)	423人 (入会会員40人) (退会会員46人)	△2人
就業実人員	269人	287人	△18人
就 業 率	63.9%	67.8%	△3.9ポイント
就業延人員	19,617人	22,011人	△2,394人
受託件数	3,456件	3,095件	361件
契約金額	130,073千円	135,180千円	△5,107千円

2 派遣事業実績

	令和4年度	令和3年度	比較増減 △減
登録会員数	162人	159人	3人
就業実人員	86人	85人	1人
就 業 率	53.1%	53.5%	△0.4ポイント
就業延人員	9,158人	8,763人	395人
受託件数	23件	26件	△3件
契約金額	54,651千円	51,092千円	3,559千円

受託と派遣の契約金額合計

	令和4年度	令和3年度	比較増減 △減
合 計	184,724千円	186,272千円	△1,548千円

会員全体（受託と派遣）の就業率

	令和4年度	令和3年度	比較増減 △減
就業率	76.7%	77.8%	△1.1%

3 普及・啓発活動

シルバー人材センター事業をPRし会員募集と仕事の受注を拡大するための取組みを行いました。

- ① 会員、役員が知人等へ「入会の声掛け運動」を行いました。
- ② まちづくりセンター、石央文化ホール等の施設へチラシを配架しました。

③ 会員加入率の低い旧那賀郡各地域（金城町、旭町、三隅町）で入会説明会を開催しました。

④ 市役所、浜田商工会議所、石央商工会（支所を含む）へ派遣事業紹介パンフを配架しました。

⑤ 浜田市の広報「はまだ」に募集記事を掲載しました。

令和4年7月号、令和5年3月号 計2回

⑥ 電話帳広告（サイネックス） 1回

⑦ 各種イベントへの参加

コロナ禍の対応により各種イベントが中止となりました。

⑧ ホームページによる情報提供を行いました。

⑨ 地域班会議の開催

会員拡大や新たな就業先を開拓していくために、地域において会員、役員が一体となって活動する必要があります。このため、活動を進める母体となる地域班を活性化させるため、地域班会議を令和5年2月15日に開催しました。

4 会報の発行

定時総会報告、会員の声等を掲載した、会報「飛翔」第38号を9月30日付で発行しました。

5 適正就業の推進

シルバー人材センターの就業について、請負と派遣の区分に関する基準に沿い、発注者の指揮、命令を受ける業務、発注者が雇用している従業員と混在して行う業務、発注者の資器材を使う業務等を派遣就業に切り替える、また新規発注分についても基準に沿って受注する取組みを進めました。受注件数は、30件となりました。

また、シルバー派遣については、労働安全衛生法に基づき、派遣労働者の安全衛生管理を図るため産業医の委嘱とともに、衛生委員会を毎月開催しました。

6 新規就業先開拓活動

事業部会と女性部会が合同で事業所訪問を検討しましたが、コロナ禍の状況により中止としました。

7 有料職業紹介事業

臨時的、短期的な就業を希望する高年齢者に職業紹介を行う有料職業紹介事業の実績はありませんでした。

8 技術講習会の実施状況

刈払機取扱講習会（令和5年2月28日）、剪定講習会（令和5年3月8日）を開催し、会員の、技術向上と安全知識の習得を図りました。

9 安全就業の推進

① 安全部会

安全部会を開催し、事故の検証と再発防止について協議を行い、安全就業の推進に努めました。

ア 第1回安全部会

開催日	参加者	内 容
9月16日	7名	・令和4年度に発生した事故の検証と再発防止に向けた取組 ・安全パトロール・・・2箇所

② 安全就業啓発の取組み

安全就業ニュースを発行し、安全就業を呼び掛けました。特に、事故の発生が多い草刈作業、剪定作業等においては、事前の安全点検が重要であり、就業前にミーティングを行い注意事項の確認を行う「安全就業点検表」の取組みを進めました。

③ 事故の発生状況

安全就業の指導と現場の就業状況の把握に努めてまいりましたが、通院、賠償をシルバー保険で対応した事故等、以下の事故が発生しました。

ア 傷害事故 10件

発生年月日	内 容	入院	通院
4.6.21	(派遣就業) 施設内で台車移動中、体勢を崩し転倒、左大腿骨骨折	30日	
4.7.15	草刈で、ハチに刺される		2日
4.7.17	草刈で、マダニに刺される	24日	
4.7.26	草取で、ハチに刺される		1日
4.9.30	刈草の処分作業で体勢を崩し左足中足骨にヒビが入った		5日

4.10.8	刈草をトラックから降ろす作業で、ロープを繋いだパイプが外れ口の下部分に当たり歯茎骨折	2日	4日
4.10.18	草刈作業で法面を移動中、約2m転落し左大腿骨を骨折	30日	
4.11.8	草刈作業中に鎌で左手小指下部分を切創		9日
4.12.13	草刈作業中に足を踏み外して転落し、右手首捻挫、右側頭部、肩、足打撲		20日
4.12.28	刈草積込中、足を滑らせてトラックから転落、右ひじ、右腰打撲		5日

イ賠償事故 5件

発生年月日	内 容	賠償額
4.9.5	草刈で、隣家の窓ガラスを破損	15,048円
4.10.30	草刈で、校舎の窓ガラスを破損	13,134円
4.11.3	草刈で、浄化槽の配管を破損	9,900円
5.1.10	派遣作業中、台車で柱を破損	60,500円
5.1.12	大工作業でブロック塀倒壊	89,177円

10 独自事業 シルバー農園事業の実施

会員の楽しみとしての農作業や親睦を図ることを目的としたシルバー農園事業を実施しています。

れんげ保育園との共同事業として、園児と一緒にサツマイモを栽培するなど、シルバー事業の幅を拡げるとともに、会員の入会促進を図りました。

- ① 場 所 内村町一の瀬地内の休耕田
- ② 参加会員 26名
- ③ 栽 培 ジャガイモ、サツマイモ、ヤーコン、タマネギ等
- ④ れんげ保育園との共同事業
 - ・6月3日 サツマイモ苗の植え付け作業 園児、園関係者、シルバー人材センター等 32名
 - ・10月11日 サツマイモ収穫作業 園児、園関係者、シルバー人材センター等 31名

※保育園との交流事業は、新聞、テレビでの報道や、全シ協の広報誌でも紹介されました。

11 ボランティア活動の実施

シルバー人材センターの社会貢献活動として、浜田医療センター附属看護学校の周辺で、除草作業を予定していましたが、医療センターの都合で中止しました。

12 研修旅行の実施

3年ぶりの研修旅行を実施しました。

- ①研修日 11月1日(火)
- ②行先 奥出雲方面(トロッコ列車等)
- ③参加者 38名

資料 1

役員会等の開催状況

年月日	会 議 名	主 な 内 容
R4. 5. 18	第 1 回理事会 (出席) 理事 10 名 監事 1 名	報告事項 ①令和 3 年度補正予算 (第 2 号) 報告 ②事業実績 ③事業報告 ④事故の発生状況 審議事項 ①特定個人情報事務取扱規程の一部変更 ②入会の承認 ③令和 4 年度定時総会提出議案 ④令和 4 年度定時総会における表彰 ⑤令和 4 年度定時総会の開催 ⑥令和 4 年度定時総会の運営 ⑦ボランティア除草作業の実施 ⑧研修旅行の実施 ⑨事業予定
R4. 6. 17	令和 4 年度定時総会 (会員総数) 411 名 出席会員 21 名 委任状提出会員 338 名 合計 359 名	議事 (1) 報告事項 第 1 号報告 令和 3 年度収支補正予算 (2) 決議事項 第 1 号議案 定款の変更 第 2 号議案 令和 3 年度事業報告 第 3 号議案 令和 3 年度決算 監査報告 (3) 報告事項 第 2 号報告 令和 4 年度事業計画 第 3 号報告 令和 4 年度収支予算
R4. 8. 26	第 2 回理事会 (出席) 理事 11 名 監事 2 名	審議事項 ①入会会員の承認 ②特定資産の取扱 報告事項 ①理事長、副理事長及び常務理事の職務 の執行状況 ②入会・退会会員の報告 ③第 1 回研修旅行実行委員会 ④第 1 回広報部会 ⑤シルバー農園事業 ⑥事業実績

		<ul style="list-style-type: none"> ⑦事業報告 ⑧事故の発生状況 ⑨浜田市健康福祉フェスティバル ⑩島根県最低賃金の改定 ⑪安全就業 ⑫事業予定 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①表彰規程の変更 ②中国ブロック役職員研修 ③ボランティア清掃 ④衛生委員会産業医対応
R4. 11. 25	<p>第3回理事会 (出席) 理事 10 名 監事 2 名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会・退会会員の報告 ②事故の発生状況 ③安全部会の開催 ④事業実績 ⑤トラクターの入札結果 ⑥第3回広報部会 ⑦第4回広報部会 ⑧シルバー農園事業 ⑨研修旅行 ⑩中国ブロック役職員研修 ⑪各地区での入会説明会 ⑫事業報告 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務費率の改定 ②総額見積方式への移行 ③第4四半期における入会の声掛け運動 ④地域班会議 ⑤講習会の開催 ⑥表彰規程 ⑦デジタル推進員 ⑧令和5年度定時総会の日程 ⑨第4回理事会の開催日 <p>事業予定</p>
R5. 1. 13	<p>第4回理事会 (出席) 理事 10 名 監事 1 名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会・退会会員の報告 ②事故の発生状況 ③ふるさと寄附の状況 ④事業実績 ⑤トラクターの納車

		⑥事業報告 審議事項 ①適正就業に係る規程の制定 ②表彰規程 ③令和4年度補正予算(第1号) ④事務費改定時期 ⑤D&O保険加入 ⑥令和5年度事業計画 ⑦キャリアアップ教育訓練 ⑧剪定講習会 ⑨刈払機取扱講習会 ⑩事業部会・女性部会合同会議 ⑪総務部会 ⑫第5回理事会開催日 事業予定
R5.3.24	第5回理事会 (出席) 理事9名 監事2名	報告事項 ①理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況 ②入会・退会会員の報告 ③事業部会・女性部会合同会議 ④地域班長会議 ⑤シルバー農園事業 ⑥キャリアアップ教育訓練 ⑦刈払機取扱講習会 ⑧剪定講習会 ⑨総務部会・事業部会合同会議 ⑩事業実績 ⑪事業報告 ⑫事故の発生状況 審議事項 ①表彰規程について ②適正就業に関する規程の制定について ③役員賠償責任保険の加入について ④未収金の状況と貸倒損失について ⑤会費未納会員の資格喪失 ⑥令和5年度の会員数目標 ⑦嘱託職員の採用 ⑧シルバー人材センター車両運搬具購入費用の積立 ⑨令和4年度収支補正予算(第2号)について

		⑩令和5年度事業計画 ⑪令和5年度収支予算 ⑫令和5年度から6年度の役員の選任 について ⑬規定集について 事業予定
--	--	---

資料2

主な会議・事業等

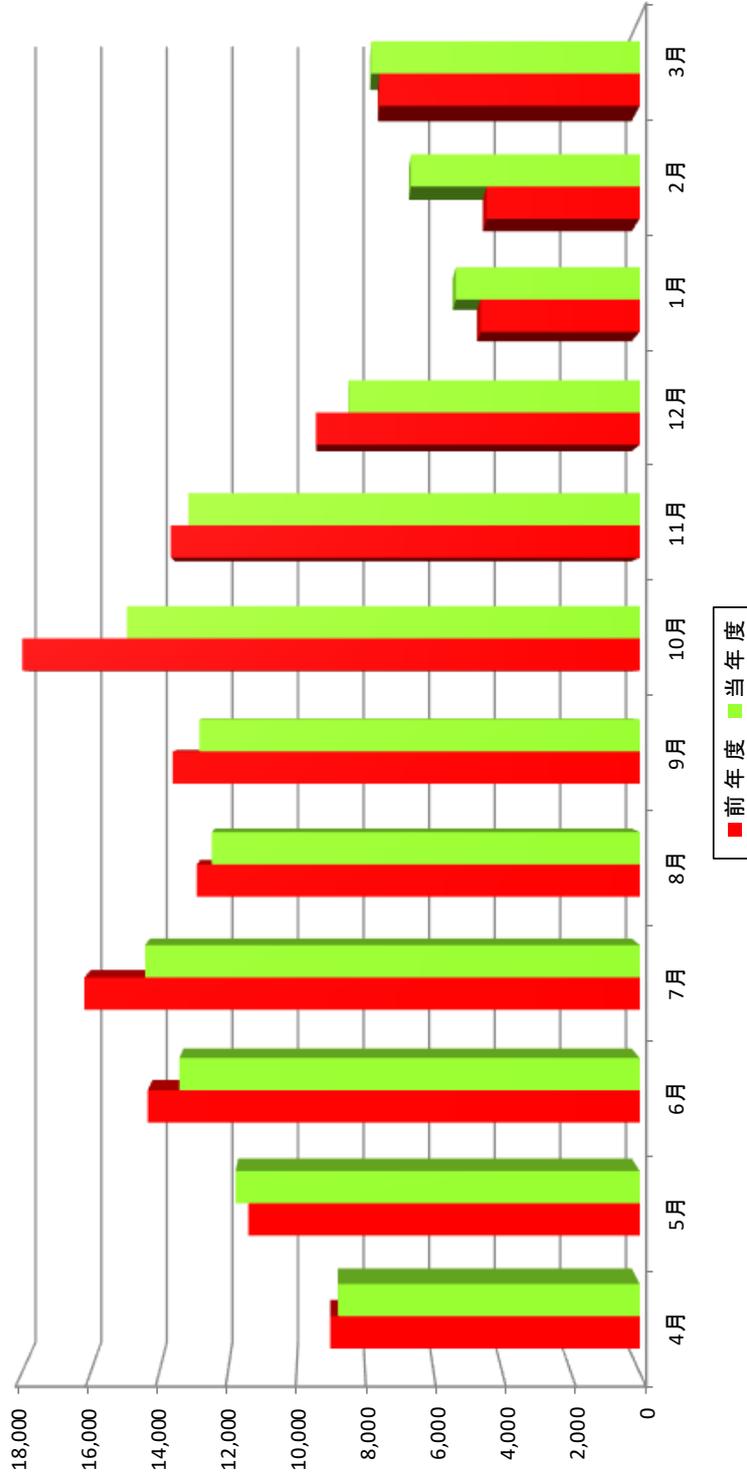
年	月	日	事 項	場所等	
R4	4	20	入会説明会	浜田市 SC	
	5	11	監査会	浜田市 SC	
		18	第1回理事会	浜田市 SC	
		20	入会説明会	浜田市 SC	
	6	3	シルバー農園、れんげ保育園と共同作業	シルバー農園	
		17	令和4年度定時総会	浜田市 SC	
		22	島根県シルバー人材センター連合会定時総会	松江市	
	7	20	入会説明会	浜田市 SC	
		13	第1回研修旅行実行委員会	浜田市 SC	
		15	第1回広報部会	浜田市 SC	
		20	入会説明会	浜田市 SC	
		22	入会説明会	浜田市 SC	
	8	24	第2回広報部会	浜田市 SC	
		26	第2回理事会	浜田市 SC	
		31	第3回広報部会	浜田市 SC	
		9	14	第4回広報部会	浜田市 SC
			16	安全委員会	浜田市 SC
	20		入会説明会	浜田市 SC	
	10	21	第2回研修旅行実行委員会	浜田市 SC	
		30	会報「飛翔」発行		
		11	シルバー農園、れんげ保育園との共同作業（収穫）	シルバー農園	
		20	入会説明会	浜田市 SC	
		11	8	金城地区入会説明会	金城町
	9		旭地区入会説明会	旭町	
	10		三隅地区入会説明会	三隅町	
	21		入会説明会	浜田市 SC	
	12	25	第3回理事会	浜田市 SC	
		20	入会説明会	浜田市 SC	

R5	1	13	第4回理事会	浜田市 SC
		20	入会説明会	浜田市 SC
	2	10	事業部会・女性部会合同会議	浜田市 SC
		15	地域班会議	浜田市 SC
		20	入会説明会	浜田市 SC
		25	キャリアアップ教育訓練	浜田市 SC
	3	28	刈払機取扱講習	福祉センター
			剪定講習会	福祉センター
		15	総務部会・事業部会合同会議	浜田市 SC
		20	入会説明会	浜田市 SC
		24	第5回理事会	浜田市 SC

(令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日)

区分	事項	① 受注件数 (件)	② 職群別 登録会員数 (人)	③ 就業 実人員 (人)	④ 就業延人員 (人日)	⑤ 契約金額				⑥ 履行期間別受注件数 (件)
						報酬 (配分金)	材料費等	事務費	合計	
職群別内訳	技術群	3	84		98	686,784円	3,410円	63,576円	753,770円	22件
	技能群	832	46		1,782	16,092,476円	2,598,023円	1,561,985円	20,252,484円	24件
	事務整理群	54	34		500	1,370,439円	6,320円	144,239円	1,520,998円	2,770件
	管理群	20	17		1,774	10,401,596円	7,226円	1,035,671円	11,444,493円	1件
	折衝外交群	24	16		179	743,263円	100円	159,219円	902,582円	86件
	一般作業群	1,943	205		14,809	77,352,064円	8,365,859円	7,737,250円	93,455,173円	
	サービス群	26	19		475	1,596,299円	1,020円	146,421円	1,743,740円	
	その他	1	0		0	0円	0円	0円	0円	
	上段計	2,903	421	269	19,617	108,242,921円	10,981,958円	10,848,361円	130,073,240円	
	下段計	2,903			19,617	108,242,921円	10,981,958円	10,848,361円	130,073,240円	
公共・民間別内訳	公共事業	188			4,025	27,048,700円	5,520,370円	2,773,955円	35,343,025円	
	一般企業等	499			9,138	43,094,672円	1,247,289円	4,289,141円	48,631,102円	
	個人・家庭	2,216			6,454	38,099,549円	4,214,299円	3,785,265円	46,099,113円	
	独自事業	0			0	0円	0円	0円	0円	

受託事業月別実績及び対前年比較表
(令和 4年 4月～令和 5年 3月)



単位:千円

(月 別)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
前年度	9,014	11,400	14,330	16,175	12,904	13,607	17,986	13,659	9,432	4,627	4,457	7,588	135,180
当年度	8,791	11,770	13,409	14,408	12,465	12,827	14,935	13,151	8,481	5,353	6,663	7,821	130,073
前年比	97.5%	103.2%	93.6%	89.1%	96.6%	94.3%	83.0%	96.3%	89.9%	115.7%	149.5%	103.1%	96.2%

(累 計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年度	9,014	20,414	34,744	50,919	63,823	77,430	95,416	109,075	118,507	123,135	127,592	135,180
当年度	8,791	20,561	33,969	48,377	60,842	73,669	88,604	101,755	110,237	115,590	122,252	130,073
前年比	97.5%	100.7%	97.8%	95.0%	95.3%	95.1%	92.9%	93.3%	93.0%	93.9%	95.8%	96.2%

資料5 年齢別会員登録状況 (令和5年3月31日現在) 単位：人

性別 \ 年齢	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	合計	平均年齢
男	0	6	45	102	134	287	74.9歳
女	0	3	19	42	70	134	75.4歳
合計	0	9	64	144	204	421	75.0歳

資料6 会員登録状況 (第1希望職業分類別・男女別)

(令和5年3月31日現在) 単位：人

	専門的技術群	事務的	サービス群	農林漁業生産	輸送建設群	一般作業群	その他	計
男	7	28	19	33	70	130	0	287
女	4	31	24	9	0	66	0	134
計	11	59	43	42	70	196	0	421

資料7 地域班別会員状況

(令和5年3月31日現在) 単位：人

地域班名	男	女	合計
国府班	27	25	52
石見1班	20	13	33
石見2班	12	7	19
石見3班	17	10	27
石見4班	7	2	9
石見5班	11	6	17
浜田1班	15	5	20
浜田2班	13	11	24
浜田3班	10	13	23
浜田4班	12	4	16
熱田班	13	13	26
長浜班	12	4	16
周布大麻班	23	4	27
美川班	13	1	14
金城班	26	5	31
旭班	10	3	13
弥栄班	17	2	19
三隅班	29	6	35
合計	287	134	421

第2号議案

令和4年度決算について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和4年度決算について、
定款第43条第2項の規定により承認を求める。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

1 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

001 本部

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	102,499	152,686	△ 50,187
普通預金	7,929,538	9,870,088	△ 1,940,550
未収金	10,571,845	7,948,492	2,623,353
仮払金	0	0	0
貯蔵品	33,598	15,254	18,344
立替金	89,177	66,888	22,289
前払金	36,100	29,000	7,100
法人会計立替金	0	0	0
流動資産合計	18,762,757	18,082,408	680,349
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
固定資産取得積立資産	0	0	0
財政運営資金積立資産	0	1,500,000	△ 1,500,000
事務所移転費用積立資産	1,073,223	1,073,223	0
特定資産合計	1,073,223	2,573,223	△ 1,500,000
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,753,457	1,940,522	△ 187,065
構築物	84,534	93,841	△ 9,307
車輛運搬具	1,785,543	59,592	1,725,951
什器備品	371,294	327,951	43,343
電話加入権	224,952	224,952	0
敷金	0	0	0
預託金	70,220	70,220	0
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	4,300,000	2,727,078	1,572,922
固定資産合計	5,373,223	5,300,301	72,922
資産合計	24,135,980	23,382,709	753,271
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,053,722	6,903,661	150,061
前受金	28,000	31,000	△ 3,000
預り金	334,239	340,862	△ 6,623
仮受金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	7,415,961	7,275,523	140,438
負債合計	7,415,961	7,275,523	140,438
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	16,720,019	16,107,186	612,833
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,073,223)	(2,573,223)	(△ 1,500,000)
正味財産合計	16,720,019	16,107,186	612,833
負債及び正味財産合計	24,135,980	23,382,709	753,271

2 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	130,875,137	135,184,211	△ 4,309,074
受取配分金	108,242,921	114,379,208	△ 6,136,287
受取材料費等	10,981,958	9,402,512	1,579,446
受取事務費	11,650,258	11,402,491	247,767
労働者派遣事業等受託収益	4,494,543	4,558,647	△ 64,104
労働者派遣事業等受託収益	4,494,543	4,558,647	△ 64,104
受取会費	811,000	829,000	△ 18,000
正会員受取会費	781,000	803,000	△ 22,000
賛助会員受取会費	30,000	26,000	4,000
受取補助金等	19,820,000	19,600,000	220,000
受取連合交付金	9,800,000	9,800,000	0
受取(市)補助金	9,800,000	9,800,000	0
受取(県)助成金	0	0	0
受取(民間)助成金	220,000	0	220,000
特定資産運用益	21	0	21
特定資産受取利息	21	0	21
雑収益	169,664	157,804	11,860
受取利息	102	148	△ 46
雑収益	169,562	157,656	11,906
配当金収益	200	200	0
配当金収益	200	200	0
経常収益計	156,170,565	160,329,862	△ 4,159,297
(2) 経常費用			
事業費	151,965,011	157,206,897	△ 5,241,886
支払配分金	108,242,921	114,379,208	△ 6,136,287
支払材料費等	9,242,221	9,201,406	40,815
役員報酬	0	0	0
産業医報酬	240,000	240,000	0
給料手当	16,897,535	16,849,215	48,320
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	2,761,166	2,668,161	93,005
退職給付費用	655,660	680,170	△ 24,510
福利厚生費	38,676	41,845	△ 3,169
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	183,331	8,268	175,063
旅費交通費	60,670	57,210	3,460
通信運搬費	1,451,238	1,368,737	82,501
減価償却費	404,877	760,002	△ 355,125
什器備品費	188,100	0	188,100
消耗品費	423,721	637,392	△ 213,671
修繕費	352,108	458,111	△ 106,003
印刷製本費	301,180	270,402	30,778
光熱水料費	946,159	761,504	184,655
賃借料	2,958,559	2,749,498	209,061
保険料	2,026,160	2,126,620	△ 100,460
諸謝金	66,530	128,838	△ 62,308
租税公課	1,383,820	755,720	628,100
支払負担金	432,775	432,775	0
組織活動助成費	94,000	94,213	△ 213
委託費	2,153,973	2,352,067	△ 198,094

科目	当年度	前年度	増減
教材費	20,111	3,860	16,251
支払手数料	371,538	170,255	201,283
貸倒損失	61,782	0	61,782
雑費	6,200	11,420	△ 5,220
管理費	3,592,720	3,517,634	75,086
役員報酬	777,000	804,000	△ 27,000
給料手当	2,306,686	2,168,600	138,086
嘱託職員賃金	0	0	0
法定福利費	134,929	202,315	△ 67,386
退職給付費用	0	16,200	△ 16,200
福利厚生費	9,169	9,169	0
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	96,596	29,323	67,273
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	85,223	82,075	3,148
什器備品費	0	0	0
消耗品費	41,112	28,252	12,860
印刷製本費	22,000	22,000	0
光熱水料費	1,521	2,000	△ 479
賃借料	12,161	12,000	161
保険料	29,000	29,500	△ 500
諸謝金	26,000	58,000	△ 32,000
支払負担金	33,200	33,200	0
委託費	1,018	1,000	18
支払委託金等返還	0	0	0
雑費	17,105	20,000	△ 2,895
経常費用計	155,557,731	160,724,531	△ 5,166,800
評価損益等調整前当期経常増減額	612,834	△ 394,669	1,007,503
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	612,834	△ 394,669	1,007,503
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	612,833	△ 394,669	1,007,502
一般正味財産期首残高	16,107,186	16,501,855	△ 394,669
一般正味財産期末残高	16,720,019	16,107,186	612,833
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	16,720,019	16,107,186	612,833

3 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政運営資金積立資産	1,500,000	0	1,500,000	0
事務所移転費用積立資産	1,073,223	0	0	1,073,223
合 計	2,573,223	0	1,500,000	1,073,223

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
財政運営資金積立資産	0	(0)	(0)	(0)
事務所移転費用積立資産	1,073,223	(0)	(1,073,223)	(0)
合 計	1,073,223	(0)	(1,073,223)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,687,502	934,045	1,753,457
構築物	139,601	55,067	84,534
車輛運搬具	9,678,216	7,892,673	1,785,543
什器備品	3,070,446	2,699,152	371,294
合 計	15,575,765	11,580,937	3,994,828

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおり
 である。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	国	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	国	0	4,461,000	4,461,000	0	—
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	市	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	市	0	4,461,000	4,461,000	0	—
電気利用効率化促進対策事業等助成金	中国電力株式会社	0	220,000	220,000	0	—
合計		0	19,820,000	19,820,000	0	

4 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	財政運営資金積立資産	1,500,000	0	1,500,000	0
	事務所移転費用積立資産	1,073,223	0	0	1,073,223
	特定資産計	2,573,223	0	1,500,000	1,073,223

2 引当金の明細

該当なし

5 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	現金	手許現金有高	シルバー人材センター事業の運転資金として 102,499
	預金・貯金	普通預金山陰合同銀行 浜田支店	シルバー人材センター事業の運転資金として 6,419,447 879,412 197,591 433,088
		普通預金日本海信用金庫本店営業部	
		普通預金島根県農業協同組合浜田支所	
		ゆうちょ銀行	
	未収金	受託事業契約金額	シルバー人材センター事業の受託事業他未収金 10,571,845
	貯蔵品	手許金券	収入印紙、切手等 33,598
立替金	物損事故保険金	物損事故の立替支払 89,177	
前払金	翌年度予算	翌年度役員賠償責任保険、社会保険協会費 36,100	
流動資産合計			18,762,757
(固定資産)			
特定資産	事務所移転費用積立資産	日本海信用金庫定期預金	公益目的保有財産として事務所移転のために特定費用準備資金として管理している預金 1,073,223
	その他固定資産	建物附属設備	木製建具、内装、電気・給排水・空調設備等
構築物		建物外構工事	公益目的保有財産としての事務所施設の外構工事 84,534
車輛運搬具		車輛 10 台	公益目的保有財産としてシルバー人材センター事業に使用している 1,785,543
什器備品		カッター機他	公益目的保有財産としてシルバー人材センター事業に使用している 371,294
電話加入権		加入権	公益目的保有財産としてシルバー人材センター事業に使用している 224,952
預託金		自動車リサイクル料金	公益目的保有財産としてシルバー人材センター事業に使用している 70,220
出資金		日本海信用金庫	シルバー人材センター事業に使用するための出資金額 10,000
固定資産合計			5,373,223
資産合計			24,135,980
(流動負債)			
	未払金	配分金他	シルバー人材センター事業に供する配分金他の未払い金額 7,053,722
	預り金	職員源泉税等	職員からの源泉所得税等預り金 334,239
	前受金	会費	翌年度正会員会費 28,000
流動負債合計			7,415,961
負債合計			7,415,961
正味財産			16,720,019

6 固定資産明細表

(1) 建物附属設備目録

品名	取得年月日	取得価格	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
木製建具(木製建具工事)	平成 29 年 5 月 19 日	743,040	49,536	293,088	449,952
内装(内装工事)	平成 29 年 5 月 19 日	656,683	43,779	259,026	397,657
電気設備(電気設備工事)	平成 29 年 5 月 19 日	194,319	12,955	76,651	117,668
給排水設備(給排水設備工事)	平成 29 年 5 月 19 日	323,460	21,564	127,587	195,873
空調設備更新工事(2 階会議室)	令和 2 年 4 月 16 日	770,000	59,231	177,693	592,307
合 計 (5 設備)		2,687,502	187,065	934,045	1,753,457

(2) 構築物目録

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
建物外構工事	平成 29 年 5 月 19 日	139,601	9,307	55,067	84,534
合 計		139,601	9,307	55,067	84,534

(単位：円)

(3) 車輛運搬具目録

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
ヤンマートラクター Y T 122. B	令和 4 年 12 月 20 日	1,870,000	89,048	89,048	1,780,952
三菱軽トラ島根 480 あ 4341	平成 17 年 6 月 27 日	788,000		787,999	1
三菱 1.5 t 400 す 5824	平成 19 年 3 月 26 日	2,299,500		2,299,499	1
日産軽トラ島根 480 さ 4094	平成 27 年 12 月 18 日	809,356		809,355	1
日産軽パン島根 480 さ 5056	平成 28 年 2 月 19 日	801,760		801,759	1
日産軽トラ島根 480 す 2740	平成 29 年 3 月 15 日	693,630		693,629	1
日産軽パン島根 480 せ 122	平成 29 年 3 月 20 日	888,850		888,849	1
三菱フナカーゴ 島根 400 ゆ 5023	令和元年 6 月 2 日	162,000		161,999	1
トヨタ 1.5 t トラック 島根 400 ゆ 5258	令和元年 7 月 31 日	305,120		305,119	1
三菱軽トラ島根 480 こ 9536	令和 3 年 4 月 27 日	110,000	55,000	105,417	4,583
合 計 (10 台)		9,678,216	144,049	7,892,673	1,785,543

(単位：円)

(4) 什器備品目録

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
スイングフォッグ SN 5 0	平成 19 年 5 月 1 日	383,250		383,249	1
ホームエアコン床置型 P 6 3 形	平成 21 年 5 月 16 日	523,950		523,949	1
ホームエアコン床置型 P 6 3 形	平成 21 年 5 月 16 日	523,950		523,949	1
スイングフォッグ SN 5 0	平成 26 年 6 月 1 日	421,200		421,199	1
カッター機 MFC 2 3 4 0	平成 26 年 10 月 7 日	569,700		569,699	1
クボタ 耕運機 TR S 6 0	平成 29 年 3 月 29 日	151,200	21,600	129,600	21,600
窪田工業所物置 ND-Z3622Y	平成 29 年 3 月 28 日	252,006	14,824	88,942	163,064
エアコン 三菱 MZS-GE4020S	令和 2 年 12 月 8 日	137,390	22,899	53,431	83,959
ゼリア 背負い式プロア EBZ8550	令和 4 年 12 月 5 日	107,800	5,134	5,134	102,666
合 計		3,070,446	64,457	2,699,152	371,294

(5) 電話加入権

(単位：円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
電話加入権	平成6年11月1日	74,984	74,984
電話加入権	平成6年11月1日	74,984	74,984
電話加入権	平成6年11月1日	74,984	74,984
合計		224,952	224,952

(6) 預託金目録

(単位：円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
三菱1.5t400す5824	平成19年3月26日	8,700	8,700
スバル軽バン島根480え9943	平成25年3月16日	8,670	8,670
日産軽トラ島根480さ4094	平成27年12月18日	5,990	5,990
日産軽バン島根480さ5056	平成28年2月19日	7,860	7,860
日産軽トラ島根480す2740	平成29年3月15日	5,990	5,990
日産軽バン島根480せ122	平成29年3月20日	7,770	7,770
三菱ランサーカーゴ根400ゆ5023	令和元年6月2日	11,770	11,770
トヨタ付1.5tトラック島根400ゆ5258	令和元年7月31日	7,700	7,700
三菱軽トラ島根480こ9536	令和3年4月27日	5,770	5,770
合計		70,220	70,220

(7) 出資金目録

(単位：円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
日本海信用金庫	平成20年8月12日	10,000	10,000
合計		10,000	10,000

(8) 事務所移転費用積立資産目録

(単位：円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
日本海信用金庫	令和3年3月31日	1,073,223	1,073,223
合計		1,073,223	1,073,223

7 収支計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	130,876,000	130,875,137	863
受取配分金	108,243,000	108,242,921	79
受取材料費等	10,982,000	10,981,958	42
受取事務費	11,651,000	11,650,258	742
労働者派遣事業等受託収益	4,495,000	4,494,543	457
労働者派遣事業等受託収益	4,495,000	4,494,543	457
受取会費	812,000	811,000	1,000
正会員受取会費	782,000	781,000	1,000
賛助会員受取会費	30,000	30,000	0
受取補助金等	19,820,000	19,820,000	0
受取連合交付金	9,800,000	9,800,000	0
受取(市)補助金	9,800,000	9,800,000	0
受取(県)助成金	0	0	0
受取(民間)助成金	220,000	220,000	0
特定資産運用益	1,000	21	979
特定資産受取利息	1,000	21	979
雑収益	171,000	169,664	1,336
受取利息	1,000	102	898
雑収益	170,000	169,562	438
配当金収益	1,000	200	800
配当金収益	1,000	200	800
経常収益計	156,176,000	156,170,565	5,435
(2) 経常費用			
事業費	151,978,000	151,965,011	12,989
支払配分金	108,243,000	108,242,921	79
支払材料費等	9,243,000	9,242,221	779
役員報酬	0	0	0
産業医報酬	240,000	240,000	0
給料手当	16,898,000	16,897,535	465
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	2,762,000	2,761,166	834
退職給付費用	656,000	655,660	340
福利厚生費	39,000	38,676	324
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	184,000	183,331	669
旅費交通費	61,000	60,670	330
通信運搬費	1,452,000	1,451,238	762
減価償却費	405,000	404,877	123
什器備品費	189,000	188,100	900
消耗品費	424,000	423,721	279
修繕費	353,000	352,108	892
印刷製本費	302,000	301,180	820
光熱水料費	947,000	946,159	841
賃借料	2,959,000	2,958,559	441
保険料	2,027,000	2,026,160	840
諸謝金	67,000	66,530	470
租税公課	1,384,000	1,383,820	180
支払負担金	433,000	432,775	225
組織活動助成費	94,000	94,000	0
委託費	2,154,000	2,153,973	27
教材費	21,000	20,111	889
支払手数料	372,000	371,538	462
貸倒損失	62,000	61,782	218
雑費	7,000	6,200	800

科目	予算額	決算額	差異
管理費	3,600,000	3,592,720	7,280
役員報酬	777,000	777,000	0
給料手当	2,307,000	2,306,686	314
嘱託職員賃金	0	0	0
法定福利費	135,000	134,929	71
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	10,000	9,169	831
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	97,000	96,596	404
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	86,000	85,223	777
什器備品費	0	0	0
消耗品費	42,000	41,112	888
印刷製本費	22,000	22,000	0
光熱水料費	2,000	1,521	479
賃借料	13,000	12,161	839
保険料	29,000	29,000	0
諸謝金	26,000	26,000	0
支払負担金	34,000	33,200	800
委託費	2,000	1,018	982
支払委託金等返還	0	0	0
雑費	18,000	17,105	895
經常費用計	155,578,000	155,557,731	20,269
評価損益等調整前当期經常増減額	598,000	612,834	△ 14,834
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	598,000	612,834	△ 14,834
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	1,000	1	999
車両運搬具除却損	1,000	1	999
什器備品除却損	0	0	0
經常外費用計	1,000	1	999
当期經常外増減額	△ 1,000	△ 1	△ 999
当期一般正味財産増減額	597,000	612,833	△ 15,833
一般正味財産期首残高	16,107,186	16,107,186	0
一般正味財産期末残高	16,704,186	16,720,019	△ 15,833
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,704,186	16,720,019	△ 15,833

収 支 計 算 書 (注記)

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
【投資活動収支の部】			
<投資活動収入>			
特定資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0
財政運営資金積立資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0
事務所移転費用積立資産取崩収入	0	0	0
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
投資活動収入計	1,500,000	1,500,000	0
<投資活動支出>			
固定資産取得支出	1,978,000	1,977,800	200
車両運搬具購入支出	1,870,000	1,870,000	0
什器備品購入支出	108,000	107,800	200
建物付属設備購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
財政運営資金積立資産取得支出	0	0	0
事務所移転費用積立資産取得支出	0	0	0
敷金・保証金等支出	0	0	0
預託金支出	0	0	0
投資活動支出計	1,978,000	1,977,800	200
投資活動収支差額	△ 478,000	△ 477,800	△ 200
【財務活動収支の部】			
<財務活動収入>			
借入金収入	2,500,000	2,500,000	0
短期借入金収入	2,500,000	2,500,000	0
財務活動収入計	2,500,000	2,500,000	0
<財務活動支出>			
借入金返済支出	2,500,000	2,500,000	0
短期借入金返済支出	2,500,000	2,500,000	0
財務活動支出計	2,500,000	2,500,000	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 478,000	△ 477,800	△ 200

監 査 報 告 書

令和 5 年 5 月 10 日

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行 様

公益社団法人浜田市シルバー人材センター

監 事 竹吉 秀 羊 

監 事 湯浅 明百美 

私達は、公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和 4 年度における会計及び業務の監査を行いました。

その結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて実施しました。
- (2) 業務監査については、関係者から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて実施しました。

2 監査の結果

- (1) 公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和 4 年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、正味財産増減の状況及び財産状態を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和 4 年度の事業報告書の内容は真実であり、法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

第3号議案

役員を選任について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター役員を選出について、定款第23条第1項の規定により承認を求める。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

理事監事候補者名簿

(五十音順)

	役職名	氏名	住所	留任・新任	所属
1	理事	猪木迫 幸子	長沢町	留任	浜田市健康福祉部長
2	理事	太田 和男	弥栄町	留任	会員
3	理事	大谷 克雄	朝日町	留任	会員
4	理事	河上 孝博	竹迫町	新任	事務局長
5	理事	栗原 宏治	長沢町	留任	会員
6	理事	小澤 孝子	殿町	留任	会員
7	理事	小松原 俊行	相生町	留任	会員
8	理事	佐々木 廣子	長沢町	新任	会員
9	理事	笹原 典子	清水町	留任	会員
10	理事	生和 茂美	笠柄町	留任	会員
11	理事	前田 政昭	国分町	留任	会員
1	監事	板本 実	高田町	新任	浜田市会計管理者
2	監事	竹吉 秀年	港町	留任	会員

任期：令和5年6月16日から令和7年度定時総会の日まで

第2号報告

令和5年度事業計画について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和5年度事業計画について、定款第42条第1項の規定により報告する。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和5年度 事業計画

事業概要

シルバー人材センターの目的は、

- ①高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や健康の維持・増進や経済的な生活の安定を図る。
- ②高齢者が地域社会の担い手として活躍することを通して、地域社会の維持発展を図る。
- ③育児などの現役世代を支える分野で高齢者が働くことを通して、現役世代を支える。
- ④人手不足の企業で高齢者が働くことを通して、人手不足の解消を図る。

この実現に向けて令和5年度事業を進めてまいります。

総務省の統計によると、65歳以上の高齢者は全国で3,627万人(令和4年9月概算値)、高齢化率は29.1%(前年度28.8%)で、内閣府の白書によると、過去最多、世界最高となっており、今後も高水準を維持していくとされています。

浜田市においては高齢化率が37.72%(令和5年2月末)となり、高齢化と少子化による労働力人口の減少が進行しています。

国では、人口減少と労働生産性の低迷から人口は増えなくても働く人の数を増やす経済成長の施策「働き方改革」を推し進めています。いったん退職した高齢者の社会参加を促すことやシニア層の活用、雇用形態の格差を埋める「同一労働・同一賃金」、70歳までの就業機会確保の企業の努力義務の高齢法の改正などが進められています。

そうした中で、シルバー人材センターが果たす役割はますます重要となっております。とりわけ、地域における労働力不足が顕著となる中、シルバー派遣事業を積極的に推進していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、シルバー事業においても会員数や契約額に大きな影響がでました。令和5年に入り、全国的にも新規感染者が減少していますが、引き続き、コロナ対策を取りながらシルバー事業を推進してまいります。

シルバー人材センターが受注した仕事を確実に完了させるため、また、企業、会社等の要望に応じてシルバー派遣を継続していくためには、健康で働く意欲のある会員を今以上に確保していく必要があります。しかし、事業所における定年延長や再雇用制度の定着、地域的な求人難という社会状況の中で、会員の拡大が非常に難しくなっています。

会員拡大に向けて、会員と役員が一体となり、「入会の声掛け運動」を柱に、入会促進の取組みの強化を図ってまいります。

一方で、会員の様々な就業ニーズに応えるためには、新しい就業先の

確保と職域を拡大させることが極めて重要であり、引続き新規就業先開拓の取組みを進めます。

また、就業中や就業途上での事故発生を防ぐため、安全就業の取組みを推進してまいります。

地域生活に密着したニーズに着実に対応し、地域社会からの期待に応えていくため、以下の事業実施計画に基づいて、公正、公平、適切な事業推進を図ってまいりますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

事業実施計画

令和5年度は、10月からのインボイス制度の開始、フリーランス保護新法の動向、総額見積方式の導入準備、全シ協の事業によるデジタル化の推進など、センターの運営にも大きな変革が必要となります。

これらの対応として、4月から、事務費を10%から12%に引き上げるとともに、事務局の体制も一部変更し、これまで以上に効率化に取り組んでいきます。

I 組織の拡大強化

(1) 会員拡大目標

全国シルバー人材センター事業協会が設定した第2次100万人計画（計画期間：平成30年度～令和6年度（7か年））の取組について、コロナ禍の影響により、会員数が下げ止まらない状況にあることから、当面、コロナ前の水準（令和元年度数値）の会員数に回復させる目標とする計画変更が示されました。浜田市シルバー人材センターの令和5年度の会員数目標を次のとおり設定します。

会員数目標 455人（令和元年度会員数実績 455人）

(2) 会員入会促進の取組

- ① 会員、役員が知人、友人に口コミでシルバー人材センターへの加入を勧める、「入会の声掛け運動」に引き続き取り組みます。
- ② 会員加入率の低い旧那賀郡各地域でシルバー事業をPRするとともに、各地域で入会説明会を開催し入会促進に努めます。
- ③ 会員の希望、能力、就業条件等のニーズを把握し、会員一人ひとりに適した就業先の確保に努めます。
- ④ 各種講習会の開催を行い会員の勧誘に努めます。
- ⑤ シルバー派遣事業を推進するため、派遣労働を希望する会員の確保に努めます。
- ⑥ チラシの新聞折り込みや広報「はまだ」での周知、浜田市シルバー人材センターホームページをはじめ、様々なPR媒体を活用して会

員の拡大に努めます。

- ⑦浜田医療センター看護学校祭や地域の各種催物等のイベントにおいてシルバー事業のPRを行います。
- ⑧会員の余暇を利用した生きがいくりの場として、シルバー人材センター同好会活動やシルバー農園事業など就労以外の活動の拡大を図ります。

(3) 女性会員の拡大

女性会員の加入率は31.8%で全国平均の34.4%(令和5年1月)と比べると2.6ポイント低い加入率となっています。シルバー事業を推進するためには、女性会員の拡大が重要な課題です。

浜田市では「産前産後家事支援サポーター派遣事業」の無料券を配布するなど子育て支援の充実を図っています。シルバーにおいては、家事援助に従事する女性会員の拡大を進めます。

(4) 会員の退会を抑制する取組み

- ①会員を増やしていくためには、退会会員を少なくすることが重要です。シルバーでは新入会会員以上に退会され会員数が減少しています。体調不良等は止むを得ないものの、「シルバーで仕事が無い」理由による退会者を出さないことを目標に、会員が希望している仕事の受注が無い場合や、様々な理由で就業していない会員に対して、ほかの仕事を紹介する、会員が就業可能な状態であるかの確認などの取組みを進め、未就業会員の削減を図ります。
- ②退会される会員は、「高齢」という理由が主なものです。しかしながら、高齢とともに就業機会が少なくなっても各種同好会やボランティア活動、研修旅行、シルバー農園事業などシルバー会員として参加することで充実した生活や社会貢献、生き甲斐につながることで、また、シルバー人材センターとしても会員で在籍することで新会員入会の紹介や就業の斡旋が期待できることです。については、就業機会が少なくなる高齢会員について、引き続いて会員として在籍していただき、多方面の活動のお願いとともに活躍を期待するため、満85歳以上の会員(令和4年度実績26名)を通称「ゴールド会員」として年会費を1,000円とします。

II 適正就業の取組みとシルバー派遣事業の推進

適正就業の取組みにより、請負では受注できない仕事をシルバー派遣に切替えてきましたが、発注時の相談において業務内容を十分見極め、適正な就業体制とすることで適正就業を推進します。

令和5年度の国庫補助金は、シルバー派遣事業の就業延人員により金額が決定される「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」が継続されます。引き続き派遣事業の拡大に取り組む必要があり、就業先を確保するとともに派遣会員を増員し、就業延人員の目標を10,000人日

(令和 4 年度実績 9,158 人日) に設定しシルバー派遣事業を推進します。

Ⅲ 就業の場の拡大

(1) 受注先の開拓

- ①地域において、会員、役員が「受注の声掛け運動」を進めます。
- ②民間事業所、行政機関、一般家庭等への訪問やチラシ配布、各種イベントの参加を通じてシルバー事業をPRし、就業機会の拡大と受注量の増大に努めます。
- ③発注者からの視点に立って、電話対応、言葉使い等の接遇向上に努め、魅力のあるセンターを目指します。
- ④草刈、剪定作業等の終了時に、発注者に対し、会員が責任をもって作業した旨を伝え、会員の代表者(班長)の名刺を渡します。シルバーの周知とともに責任の所在を明らかにします。

(2) 公平な就業の確立

就業情報の提供に努め、長期就労の見直しを行い、就業の公平性の確立に努めます。

(3) 技術研修会・講習会の実施

各種研修会・講習会を実施し会員の技術向上を図るとともに、シルバー事業後継者の育成に努めます。

(4) 職群班の充実

草刈班、剪定班の拡大と充実を進めるとともに、各種職群班を設置しグループ就業の効果的推進を図ります。

(5) 関係団体との連携

商工会議所、商工会、ハローワーク等との連携を密にして就業先の拡大を図ります。

Ⅳ 安全就業の推進

「就業中や就業途上の事故を起こさない。安全を全てに優先させる」を念頭に、安全部会活動の充実、巡回パトロール指導や安全講習会の開催、安全就業ニュースの発行を通して会員の安全就業意識を啓発し、安全就業の確立に取り組みます。

なお、万が一の事故に備えて「シルバー人材センター団体傷害保険」に加入しています(通院1日につき2,000円、入院1日につき3,000円)。また、賠償保険(対人、対物)における免責額は0円です。

全国的に刈払機、剪定作業による事故が多発しています。刈払機取扱講習会、剪定講習会を開催します。

(1) 安全点検の履行

特に事故の発生が多い草刈作業、剪定作業において、就業会員が「安全就業点検表」による就業時の安全点検を行うことにより安全就業に繋がります。

(2) 安全具着用の義務

- ①高所作業：ヘルメット、命綱
 - ②剪定（伐採を含む）：ヘルメット、安全帯、保護メガネ（現場による）
 - ③草刈：ヘルメット、肩掛けバンド、保護メガネ（保護面）、作業に適した靴等（現場によりスパイク付）、手袋（振動障害予防仕様の手袋もあります）
- (3) 安全講習会を開催し、関係作業会員の参加を義務付け、安全意識の徹底を図ります。
- (4) 安全パトロールの回数を増やして、作業状況を把握し安全就業の徹底を図ります。
- (5) 共同作業では、班長やリーダーが安全具着用を確認・指導する。また、お互いが声の掛け合いをすることで危険防止を図ります。
- (6) 刈払機による飛び石は、想定外のところまで飛んで事故を起こすことがあります、コンパネや防護ネット等を利用し事故を防ぎます。

V 普及啓発活動の推進

(1) 広報等の活用

- ①広報「はまだ」にPR文の掲載をお願いします。
- ②ホームページを活用してシルバー事業の普及啓発に努めます。
- ③会報「飛翔」を関係先に配布しシルバー事業のPRに努めます。
- ④会員募集と就業先開拓のチラシ等を作成し、公共的な施設等に配架しシルバー事業のPRに努めます。

(2) 地域班の活性化

広く市民にシルバー事業を理解いただき、会員の入会促進や就業先の拡大を図るためには、地域において会員、役員が積極的な広報活動を進める必要があります。

このため会員からの意見を受け止め、会員と役員が一緒になった取り組みを行う体制づくりの場として地域班は重要な役割を持っています。地域班活動を活性化させるため、地域班会議を開催します。

(3) 行政への働きかけ

シルバー人材センターは、法律に基づく公共性・公益性の高い団体であり、高齢者施策の一端を担うものであることを広く市民にPRするとともに、行政に対しても運営状況や事業報告等について積極的な情報公開を行い、就業先情報の提供を求めます。

(4) 報道機関の活用

新聞等のマスコミに各種の情報を提供し、シルバー事業の普及啓発に努めます。また、新聞に折り込みチラシを入れます。

VI 有料職業紹介事業の実施

臨時的・短期的又は軽易な業務の雇用による就業を希望される高齢者に向け、有料職業紹介事業を実施します。

VII シルバー農園事業

シルバー事業の幅を広げるとともに、会員の入会促進を目的として取組みを始めたシルバー農園事業を引続き推進します。収穫された野菜の一部は、定時総会や各種催物等で販売します。

今年度も、れんげ保育園と共同してサツマイモの栽培を行います。多数の園児が参加される予定であり、シルバー農園への会員の積極的な参加をお願いします。

VIII ボランティア活動の実施

シルバー人材センターの社会貢献活動として、ボランティア活動を実施します。

実施場所、日程等詳細が決まりましたら、会員の皆様に連絡をしますので、多くの会員のご参加をお願いします。

IX 研修旅行について

昨年に引き続き研修旅行を実施する予定です。

日程等詳細が決まりましたら、会員の皆様にお知らせしますので、多くの会員のご参加をお願いします。

第3号報告

令和5年度収支予算について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和5年度収支予算について、定款第42条第1項の規定により報告する。

令和5年6月16日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原俊行

令和5年度 収支予算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	144,200,000	141,800,000	2,400,000	
受取配分金	120,000,000	120,000,000	0	
受取材料費等	9,800,000	9,800,000	0	
受取事務費	13,360,000	12,000,000	1,360,000	配分金の12%
受取事務費(租税公課振替分)	1,040,000	0	1,040,000	配分金の2%
労働者派遣事業等収益	5,198,000	5,000,000	198,000	
労働者派遣事業等収益	5,198,000	5,000,000	198,000	連合会からの派遣事業協力金
受取会費	940,000	1,050,000	△ 110,000	
正会員受取会費	910,000	1,020,000	△ 110,000	会費(年会費2,000円)
賛助会員受取会費	30,000	30,000	0	会費(年会費個人2,000円、団体3,000円以上)
受取補助金等	19,594,000	19,600,000	△ 6,000	
受取連合交付金	9,797,000	9,800,000	△ 3,000	国庫補助金
受取市補助金	9,797,000	9,800,000	△ 3,000	市補助金
雑収益	260,000	206,000	54,000	
受取利息	1,000	1,000	0	預金利息
雑収益	259,000	205,000	54,000	
配当金収入	1,000	1,000	0	
配当金収入	1,000	1,000	0	
経常収益計	170,193,000	167,657,000	2,536,000	
(2) 経常費用				
事業費	168,762,000	164,134,000	4,628,000	
支払配分金	120,000,000	120,000,000	0	就業会員に対する配分金支払
支払材料費等	9,800,000	9,800,000	0	原材料代、就業に伴う諸経費など
産業医報酬	240,000	240,000	0	
給料手当	17,908,000	16,788,000	1,120,000	職員基本給、期末勤勉、諸手当
臨時雇用賃金	0	0		
法定福利費	3,248,000	2,671,000	577,000	社会保険、労働保険等
退職金給付費用	664,000	664,000	0	中小企業退職金共済掛金 企業年金基金
福利厚生費	43,000	43,000	0	健康診断料等
会議費	2,000	2,000	0	会議経費
役員等旅費交通費	165,000	179,000	△ 14,000	役員シルバースタッフに係る旅費
旅費交通費	107,000	200,000	△ 93,000	職員の会議・研修等に要する旅費
通信運搬費	1,570,000	1,412,000	158,000	郵便料、電話料等
減価償却費	543,000	320,000	223,000	
什器備品費	210,000	10,000	200,000	事業用備品
消耗品費	791,000	791,000	0	事務用消耗品、燃料費等
修繕費	486,000	486,000	0	自動車、作業場等の修繕費
印刷製本費	300,000	300,000	0	事務局だより印刷費
光熱水料費	959,000	898,000	61,000	電気料、水道料、ガス料
貸借料	3,064,000	3,064,000	0	パソコン機器・ソフトの賃借料等
保険料	2,220,000	2,121,000	99,000	団体傷害、賠償責任、自動車任意保険料
諸謝金	286,000	186,000	100,000	安全部会、広報部会等
租税公課	1,910,000	749,000	1,161,000	契約に伴う印紙税等
支払負担金	457,000	433,000	24,000	全シ協、連合会の年会費等
組織活動助成費	102,000	109,000	△ 7,000	会員組織活動の助成

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
委 託 費	3,288,000	2,304,000	984,000	弥栄社協への事務委託費等
教 材 費	5,000	5,000	0	資料代等
支 払 手 数 料	374,000	344,000	30,000	振込手数料等
貸 倒 損 失	0	0		
雑 費	20,000	15,000	5,000	事業に係る雑費
管 理 費	1,431,000	3,523,000	△ 2,092,000	
役 員 報 酬	923,000	798,000	125,000	理事長、副理事長、理事、監事報酬
嘱 託 職 員 賃 金	0	2,169,000	△ 2,169,000	
給 料 手 当	0	0	0	職員基本給、期末勤勉、諸手当
法 定 福 利 費	0	111,000	△ 111,000	社会保険、労働保険等
退 職 金 給 付 費 用	0	0	0	中小企業退職金共済掛金
福 利 厚 生 費	0	10,000	△ 10,000	健康診断料等
会 議 費	3,000	3,000	0	総会、理事会等の会議費
役 員 等 旅 費 交 通 費	38,000	35,000	3,000	役員等の会議出席旅費
旅 費 交 通 費	0	0	0	職員の研修会等旅費
通 信 運 搬 費	83,000	83,000	0	郵便料、電話料等
什 器 備 品 費	10,000	10,000	0	事業用備品
消 耗 品 費	80,000	80,000	0	事務用消耗品、燃料費等
印 刷 製 本 費	22,000	22,000	0	総会資料印刷費
光 熱 水 料 費	2,000	2,000	0	電気料、水道料、ガス料
賃 借 料	12,000	12,000	0	パソコン機器・ソフトの賃借料等
保 険 料	35,000	30,000	5,000	役員賠償責任保険料
諸 謝 金	100,000	74,000	26,000	総務部会、事業部会、女性部会
支 払 負 担 金	36,000	36,000	0	浜田商工会議所会費等
委 託 費	1,000	1,000	0	プログラム保守料等
雑 費	86,000	47,000	39,000	借入金支払利息、その他諸雑費
経 常 費 用 計	170,193,000	167,657,000	2,536,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0		
一般正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	

収支予算書に係る注記

1 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
投資活動収支の部				
投資活動収入				
固定資産売却収入	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	
特定資産取崩収入	0	2,574,000	△ 2,574,000	
財政運営資金積立資産取崩収入	0	1,500,000	△ 1,500,000	
事務所移転費用積立資産取崩収入	0	1,074,000	△ 1,074,000	
投資活動収入計	0	2,574,000	△ 2,574,000	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	0	0	
車両運搬具購入支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
敷金・保証金等支出	0	0	0	
預託金支出	0	0	0	
特定資産取得支出	1,300,000	2,574,000	△ 1,274,000	
財政運営資金積立資産取得支出	300,000	1,500,000	△ 1,200,000	
事務所移転費用積立資産取得支出	1,000,000	1,074,000	△ 74,000	
投資活動支出計	1,300,000	2,574,000	△ 1,274,000	
投資活動収支差額	△ 1,300,000	0	△ 1,300,000	
財務活動収支の部				
財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
財務活動支出	0	0	0	
借入金返済支出	0	0	0	
短期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,300,000	0	△ 1,300,000	

1 受取配分金等の増加に連動する支出（支払配分金、支払材料費等）に限り予算額を超えて執行することができる。

2 借入金限度額 令和5年度の短期借入金限度額は500万円とする。

3 債務負担額 次表のとおりリース契約により債務を負担する。

(単位：円)

年度 契約先 品名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
NRI社会情報システム(株) エイジレス80コネク	1,771,440	1,771,440					3,542,880
リコーリース(株) パソコン機器	472,560	354,420					826,980
NRI社会情報システム(株) CTIシステム	183,480	183,480	183,480	183,480	15,290		749,210
日本電気株式会社 電話機システム7台	238,920	238,920	238,920	238,920	19,910		975,590
シャープファイナンス リコー複合機MP-C2201	55,728	4,644					60,372
合 計	2,722,128	2,552,904	422,400	422,400	35,200	0	6,155,032

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における短期借入金及び長期借入金の予定の有無。

(単位：円)

借入の予定		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
事業 番号	借入先	金額	使途
1	日本海信用金庫	5,000,000	配分金の支払

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無

(単位：円)

設備投資の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法又は 資産の使途